

野跡駅前市有地の活用に係るサウンディング型市場調査の結果概要

本市では、野跡駅前市有地の活用にあたり、民間事業者との「対話」を通して、利活用のノウハウ・アイデア等の提案を受けることによって、当該エリアの市場性を把握し、民間活力導入の可能性を判断することを目的に、サウンディング型市場調査を実施しました。

この度、その実施結果を取りまとめたので公表します。

1. 実施経緯

実施要領公表 : 令和5年1月31日（火）

対話の実施 : 令和5年2月14日（火）～2月28日（火）

2. 参加事業者数

5者

3. 事業者からの主な意見

導入する機能の考え方について

- ・あおなみ線「野跡駅」や伊勢湾岸自動車道のインターに近く、人口が多いとは言えないが、市営住宅が立ち並び、一定数の人口は見込まれる地域である。
- ・現状は周辺に工場等が多く、動線上の市場性は低いと思われるが、今後の周辺開発の状況によって、ポテンシャルや利活用の可能性が変わってくる。
- ・交通至便性やエリア特性を踏まえ、周辺開発と類似する利活用の他、福祉活動や起業活動の拠点となるような利活用が考えられる。
- ・災害リスクが高い地域であることから災害時の拠点となるような利活用も考えられる。

公募における条件設定について

- ・貸し付け又は売却双方可能な対応が望ましい。
- ・貸し付けの場合は、長期が望ましい。
- ・参画しやすい柔軟な対応が望ましい。

開発にあたっての要望

- ・動線上の人流増加に向けて、対象地だけでなく、金城ふ頭などを含め広域的なエリアの開発動向や連携を踏まえた検討が必要。

4. 今後の予定

事業者の皆様からいただいたご意見を参考に、市有地活用のための公募実施に向けて検討を進めます。